

ブルーベリーの優良品種の選定

【1 成果概要】

岩手県（北上市）での収穫時期を明らかにし、農業研究センターで試作しているブルーベリー19品種の中から優良品種を8品種選定

【2 優良品種の基準】

収量・果実肥大・食味を基準に評価し、収穫期ごとに優良品種を選定。

- 多収は植栽3～6年目の積算収量が4000g以上/株
- 大玉は1果重平均2g以上、選果割合2L（約3g）以上25%以上
- 良食味は試食アンケートで評価の高い品種



表1 ブルーベリー優良品種の収穫期・特性・収量・果実選果割合

	収穫期	特性			収穫始 (月/日)	収穫盛期 (月/日)	収穫終 (月/日)	平均果重と 積算収量(g)		平成18年度の 選果割合	
		多収	大玉	良食味				1果重	収量	2L以上	L以上
アーリーブルー	極早生			○	7/1	7/9	7/20	1.4	3,169	0.7%	50.8%
デューク	早生	○	○	○	7/4	7/14	7/21	2.1	4,319	33.9%	94.2%
ブルージェイ	早生	(○)		○	7/8	7/18	7/31	1.7	3,315	0.8%	73.4%
スパータン	早～中生	○	○	○	7/10	7/21	8/2	2.0	4,311	25.1%	92.8%
シェラ	早～中生		○	○	7/13	7/23	8/1	2.0	2,469	52.9%	98.6%
ブルーチップ	早～中生		○	○	7/14	7/23	8/6	2.3	2,989	58.7%	96.4%
プル	中生	(○)	○	○	7/12	7/28	8/10	2.0	3,356	38.5%	95.7%
ブルーレイ	中生	○		○	7/17	7/29	8/11	1.8	4,920	6.1%	73.4%

※収穫始、収穫盛期、収穫終は定植4年目～6年目までの平均値。

ただし「ブルージェイ」は定植3年目～5年目の平均値

※積算収量は定植3年目～6年目までの収量。ただし、「ブルージェイ」の積算収量は定植2年目～5年目、「プル」は苗木養成期間が1年短いので、ともに多収の可能性が高い。

※選果規格：2L（横径18～20mm、約3g）、L（横径15～18mm、約2g）

【3 留意事項】

ブルーベリーは収穫に手間がかかり、また、日持ちがあまり良くありません。ブルーベリーを導入する際には、経営規模や販売方法に有利な品種を選択する必要があります。なお、晩生、極晩生品種は試食アンケートで高い評価の品種が無く、優良品種に選定しませんでした。収量と果実肥大は「ダロー」が良好です。

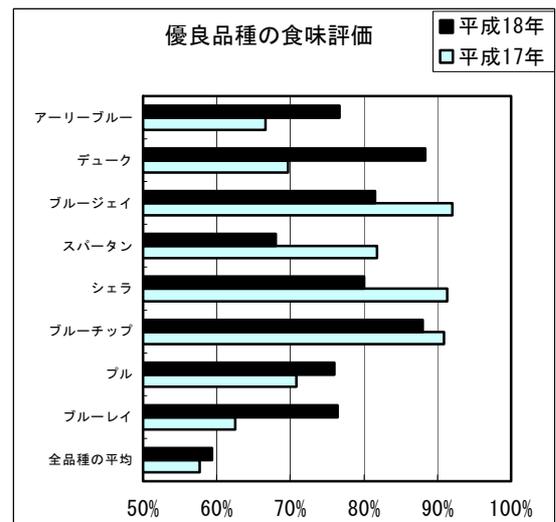


図1 ブルーベリーの試食アンケート結果（食味評価）
 ※「うまい」「ややうまい」「ややまずい」「まずい」の項目中、「うまい」「ややうまい」の合計割合
 ※1品種あたりの平均回答数：平成17年24.5人、平成18年29.6人。対象は農研センター職員。